

授業科目 医療福祉チームワーク論			科目コード番号	
【担当教員名】 遠藤 和男	対象学年	1	対象学科	全科共通
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15
【概要及び学習目標】				
<p>&lt;概略&gt;</p> <p>チームワークを学ぶためには、小グループ討議が必要である。したがって、この授業科目のうち、4回ほどは基礎ゼミⅡの中で実施してもらっている。ただし、コアカリキュラムである「医療福祉基礎科目群」の選択の幅が狭いため、本授業を選択しないと単位不足になる可能性もある。1教室約50人として助手さんの手助けで3教室掛け持ちでも、約150人が限度である。したがって、他で単位が足りる場合には選択しないようにお願いしたい。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <p>一般目標：将来チーム医療に携わる一員として活躍するために、グループワークの重要性を理解する。  行動目標：1. グループワーク、コミュニケーションの重要性を説明できる。  2. 日本の老人保健・医療・福祉の問題点を指摘できる。  3. 日本の医療と福祉との連携について、解決策を立てることができる。  4. グループワークに積極的に参加する。</p>				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1	医療福祉学とは	最近指摘されている医療と福祉との連携の重要性について学ぶ。		講義
2	介護保険とチームワーク	介護保険では申請時からチームワークが重要であることを学ぶ。		同上
3	大切なものはなあに？	人生で何が大切かは人によって異なり、様々な意見があることを学ぶ。 話し合いによって、極端な意見は相殺され、平均的な意見に落ち着く。		グループ ワーク
4	日本の老人保健・医療・福祉の問題点	日本の老人保健・医療・福祉の問題点についてKJ法を用いてまとめる。		同上
5	二次元展開法による解決策	4. の問題点に対する解決策について二次元展開法でまとめる。		同上
6	情報伝達ゲーム	ゲーム形式によって正確な情報を伝達する困難性を経験し、 チームワークの前提としてコミュニケーションの重要性を学ぶ。		同上
7	医療福祉チームワークの問題点	医療福祉チームワークの問題点についてKJ法でまとめる。		同上
【評価方法】				
1. 毎回の小グループ討議における活発さを観察評価する。 2. 第7回の問題点に対する解決策をレポートとして提出する。筆記試験は行わない予定である。				
【履修上の留意点】				
基礎ゼミⅡでもチームワークに関して4回実施するため、単位が足りている場合は、なるべく履修しないようお願いしたい。なお、3年次の「全人的医療論」の後半でチームワークを考慮したケーススタディを行なう予定である。				

## 【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	特に指定しない			
参考書	AERA Mook「医療福祉学がわかる本」		朝日新聞社	2001、¥1200＋税
その他 (プリント等)	2回の講義ではレジュメを配布する。 グループワークでは筆記用具以外の教材はすべてこちらで用意する。			